

1 南海トラフ巨大地震による津波の数値シミュレーションについて（島しょ部）

1. 1 津波シミュレーションに用いる津波断層モデルについて

内閣府（2012）「南海トラフの巨大地震モデル検討会」においては、南海トラフ巨大地震の津波断層モデル（津波用：M9.1）として「基本的な検討ケース」計5ケース（ケース①から⑤まで：大すべり域、超大すべり域が1か所のパターン）と、「その他派生的な検討ケース」計6ケース（ケース⑥から⑪まで：大すべり域、超大すべり域に分岐断層も考えるパターンが2ケース、大すべり域、超大すべり域が2か所のパターンが4ケース）の計11種類を検討している。

同検討会でこれらを計算した結果、東京湾沿岸や島しょ部の各町村においては、5ケース（ケース①、②、⑤、⑥及び⑧）で最大津波高を示した（表 1.1-1 参照）。

そのため、今回の東京都の被害想定では、当該5ケースについて津波浸水シミュレーションを実施することとした。図 1.1-1 に東京都の島しょ部を示す。また図 1.1-2 に内閣府（2012）の当該5ケースの津波断層モデルを示す。

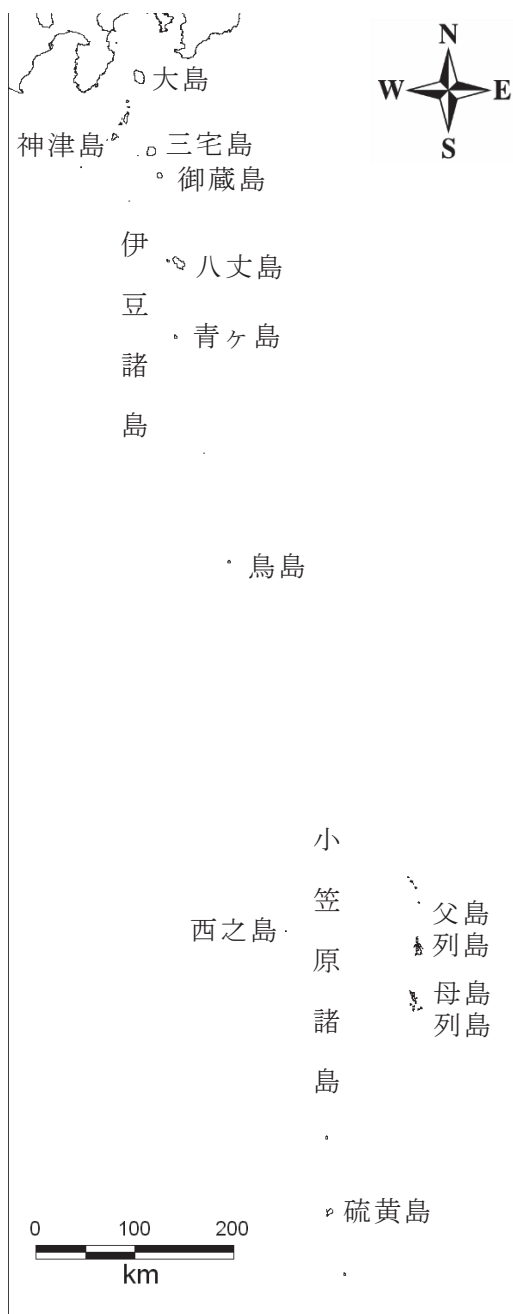
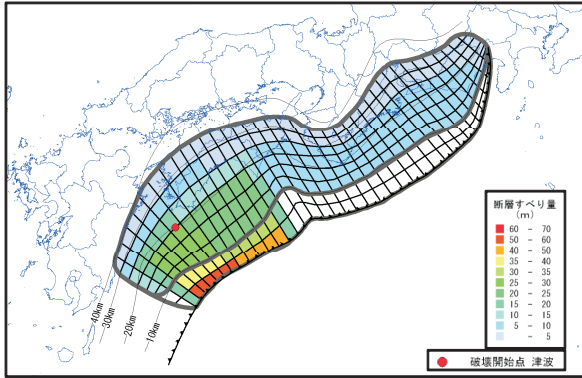


表 1.1-1 対象地域と最大津波高を示した南海トラフの巨大地震（M9.1）の津波断層モデル

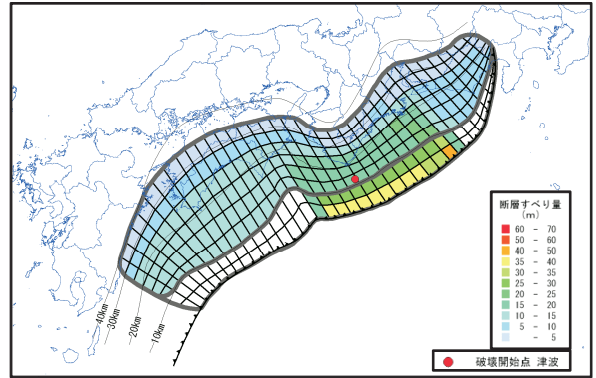
対象地域	津波断層モデル
東京湾	ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定
	ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定
伊豆諸島 大島～神津島、御蔵島	ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖の2か所に大すべり域を設定
伊豆諸島 三宅島	ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定
	ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層
伊豆諸島 八丈島、青ヶ島	ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層
小笠原諸島	ケース⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定

図 1.1-1 東京都の島しょ部（南鳥島、沖ノ鳥島は割愛。）

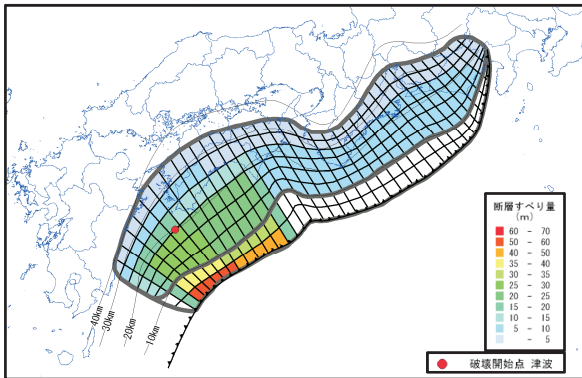
【基本的な検討ケース】大すべり域、超大すべり域が1か所の計5ケースの内の3ケース



【ケース①「駿河湾～紀伊半島沖」に
「大すべり域+超大すべり域」を設定】
区部、三宅島



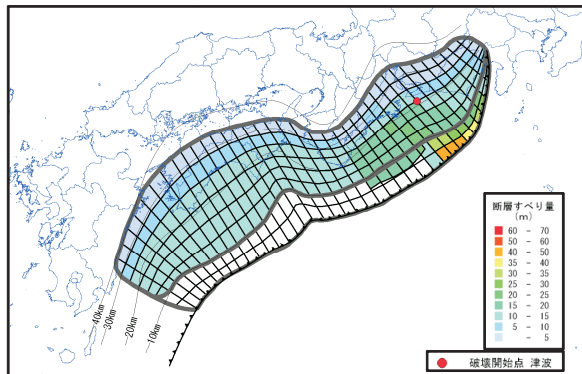
【ケース②「紀伊半島沖」に
「大すべり域+超大すべり域」を設定】
区部



【ケース⑤「四国沖～九州沖」に
「大すべり域+超大すべり域」を設定】
小笠原諸島

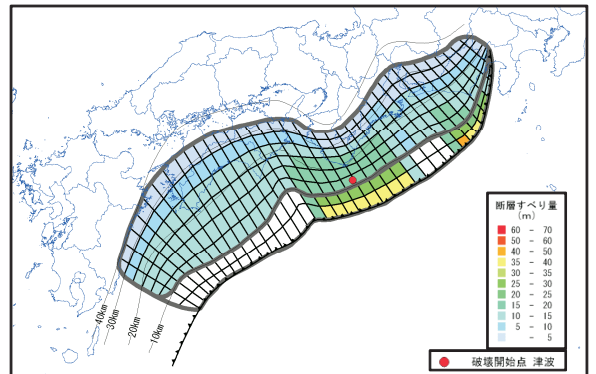
【その他派生的な検討ケース】

大すべり域、超大すべり域に分岐断層も
考えるパターン



【ケース⑥「駿河湾～紀伊半島沖」に
「大すべり域+(超大すべり域、分岐断層)」を設定】
三宅島、八丈島、青ヶ島

大すべり域、超大すべり域が2か所の
パターン



【ケース⑧「駿河湾～愛知県東部沖」と「三重県南部沖～
徳島県沖」に「大すべり域+超大すべり域」を2か所設定】
大島～神津島、御蔵島

図 1.1-2 内閣府（2012）による南海トラフ巨大地震の津波断層モデル（抜粋）